

(例)

該当箇所		
No.	質問内容	回答

実施要領 1頁 2 提案限度額		
1	(1) 委託業務分、(2) システム 使用料、(3) 回線使用料は、それぞれの上限額を示しており、業務委託分の中に、(2) システム 使用料、(3) 回線使用料を含まないとの理解でよろしいでしょうか。	そのとおりである。
実施要領 2頁 3 参加資格要件 (1) 単体事業者の場合		
1	⑨市の地域経済の循環に配慮し、公平・公正な視点に立ちながら、市内事業者（市内に本社又は本店を有する者）を積極的に活用するよう努める事業者であること。」別表の評価基準によると、見込みがあるかどうかの基準が示されていますが、この場合、見込みがあるとの記載だけで評価されるという理解でよろしいでしょうか。5段階で評価をされると思いますが、どのような場合に満点となるのでしょうか。	現段階で見込みがある場合、評価の対象となる。満点については、受託者と下請け会社の全てが市内業者である場合を想定している。
2	⑩SDGs（女性活躍、脱炭素及び障がい者雇用への配慮等）に取り組んでいる事業者であること。」の評価について、評価方法の基準は如何なるもののでしょうか。別表の評価基準において、5段階で評価をされると思いますが、どのような場合に満点となるのでしょうか。	「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中に掲げられている17のゴールについて、貴社の取り組みの状況により評価する。満点については17のゴールの全てについて取り組みを進め、それぞれ一定の成果が表れていると認められる場合を想定している。
3	令和4年度分のシステム使用料について以下の考え方ででしょうか。①登録などの初期設定費用、SSLなどは、含まない。②開発期間の月額使用料	① 登録などの初期設定費用は委託料、SSLなどは、月額使用料に含む。 ② 令和4年度、開発期間中の月額使用料は、システム使用料に含む。
4	導入実績についてデジタルアーカイブ・デジタルミュージアムの導入実績は直接契約のみが対象でしょうか。リースやファイナンス会社経由での契約も実績として承認いただけますでしょうか。	リースやファイナンス会社経由での契約も実績として認めます。
仕様書 1頁 4 業務内容 (1) 共通項目 ア システム要件		
1	「データ連携基盤（都市OS）へ連携する機能を有すること。」連携機能の求める範囲をご教示ください。デジタルミュージアム全体でしょうか、資料管理システムについてでしょうか。必須であれば、連携する範囲や細かな要件の開示をお願いします。	・データ連携基盤との連携により実現したいことは、デジタルミュージアムのアーカイブやコンテンツのデータを外部のシステム（アプリ等）でも閲覧可能とすることである。それを実現するシステムと連携をしたい。 ・今回はデータを提供することが可能な外部連携APIを構築いただくことを考えている。なお、対向となる外部システムや外部連携APIの仕様については、別途業務において検討されるため、詳細は業務開始後に発注者から提示させていただく。
2	小田原市のセキュリティーポリシーと、それをふまえて実装が必要なセキュリティーに関する必要となる具体的な仕様の基準や要望があれば、ご教授ください。	・具体的な仕様の基準はない。 ・情報セキュリティー対策の第一義は住民生活や地域の社会経済活動を保護するため、保有する情報を守り、業務を継続することである。このことから、情報が守れるよう十分な対策を講じていただくよう要望する。  参考 URL ・小田原市セキュリティーポリシー 【 <a href="https://www.city.odawara.kanagawa.jp/municipality/report/itpolicy.html">https://www.city.odawara.kanagawa.jp/municipality/report/itpolicy.html</a> 】

3	「本事業は地方公共団体が発注する事業であること考慮し、・・・」とありますが、高いセキュリティを担保するものであれば、システムの開発はクラウドまたはオンプレミスのどちらでも構わない想定でしょうか。もし、クラウドでは構築できない等の条件があればご教示いただけないでしょうか。	本市の施設内にサーバーを置くことは想定していないため、クラウド等での運用において十分なセキュリティ対策を行うことで安全性を担保できるものにしていただきたい。
4	「本市も一定の期間ごとに全データのバックアップがとれること」とありますが、一定の期間とはどの程度をお見込みでしょうか。	1ヶ月から数ヶ月に1回程度を想定している。
5	令和4年度中のバックアップとありますが、これは令和4年度中のシステム構築期間中のバックアップのことでしょうか。	期間中及び完了時におけるバックアップを想定している。
6	今回構築するデジタルミュージアムのサーバーのホスティング場所に要望はありますでしょうか？外部のサーバーをレンタル契約する対応でも問題ないでしょうか？既存で小田原市が運用している指定されたサーバーがあるかも含めてご教授ください。	小田原市が運用しているサーバーは存在するが、本事業ではクラウド等の外部のサーバーの利用を想定している。
7	「神奈川情報セキュリティクラウド」で実際に使用するセキュアブラウザの製品名もしくは仕様詳細をご教授ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は Soliton SecureBrowser II を使用している。</li> <li>・なお、令和5年2月頃から「神奈川情報セキュリティクラウド」の更新があるので、それ以降の製品については現時点で確定していない。</li> </ul>
8	デジタルミュージアムサイトの想定アクセス数は月間でどの程度が見込まれていますでしょうか？（各施設の月間来場者数が参考になると考えられます） ※補足 文化財マップにかかわる質問になります。町田市のを参考に挙げられていましたが、町田市の文化財マップは Google Map が使われています。 同様に Google Map を使用する場合、月間の表示リクエスト回数が 28,500 回を超えると従量制で料金がかかります。そのための確認です。	1月あたり、約1万件のアクセスを想定している。
9	図書管理について、機能要件を満たせる場合はデジタルアーカイブシステムでの統合管理としてご提案させていただくことは可能でしょうか。	可能である。
<b>仕様書 3頁 3 業務内容 (1) 共通項目 イ WEBページ制作・デザイン</b>		
1	一般的に広く普及しているブラウザに IE11 は含まれますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では含まない。</li> <li>・ただし、利用者側のパソコンで IE11 を継続して利用している可能性があるため、1～2年は閲覧に支障がないことが望ましい。</li> </ul>
<b>仕様書 3頁 4 業務内容 (1) 共通事項 ウ 資料のデジタル化及びコンテンツ制作の優先順位</b>		
1	別添資料を確認しますと、デジタル化すべきコンテンツが非常に多いですが、試算したところ、カテゴリ1の全てがアーカイブ化出来ないと、本公募から落選という形になるのでしょうか。それとも、柔軟に予算の中で最大のアーカイブ数を目指すことを相談可能なのでしょうか（我々も可能な限り多くのアーカイブを作成したいことと、カテゴリ2も可能ならアーカイブ化したいため、ネガティブな説明ではなくリスクの確認です）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カテゴリ1に示している内容は必須のため、本業務で達成できない見込みの場合は審査の評価が低くなることが想定される。</li> <li>・カテゴリ2については、優先順に従って業務を行うことを想定している。</li> </ul>
<b>仕様書 3頁 4 業務内容 (1) 共通項目 エ その他</b>		
1	「本業務期間中における、システム使用料及び回線使用料の一切は、本委託契約には含めず、要領に記載の限度額	そのとおりである。

	の範囲内で、別に算出すること。」この別で算出する費用について、それぞれの通信会社などに小田原市様が直接契約をし、支払いをする事を意図されているのか、あくまで別で計上するという理解でよろしいでしょうか。	
2	「本業務の従事者には、学芸員・・・」とありますが、本業務で組閣するカメラマンや学芸員の方々は小田原市の方を雇用する予定ですが、カメラマンと学芸員のツテや実際の調達についても弊社に期待されていますでしょうか。 (例えば、ツテ自体は小田原市様にあり、に紹介いただくことを想定されている等)。 現状、弊社ではカメラマンは小田原市近郊のチームディレクターを2名程度調達し、その他3名は小田原市内で調達することを想定しております。	市が別に指定する者を除き、原則として従事者の確保は受託者の責任で行う必要がある。
3	デジタルミュージアム自体のドメイン取得は費用負担も含めてこちらで対応する必要があるのでしょうか。	ドメインを取得する必要がある場合、その取得及び使用料については、システム使用料に含めること。
<b>仕様書 4頁 (2) デジタルアーカイブ ア 資料のデジタル化 (ア) 目録及び資料のデジタル化</b>		
1	「目録 データについては、原則としてExcel データの形式で提供する。」該当資料の内容を理解するためにも、企画提案段階で開示はして頂けないでしょうか。	現状整備済の目録については、参加資格要件を満たした者に開示する。
2	「・ デジタルカメラによる 撮影は原則として 5 班体制とし、各班契約期間中の平日 1 1 0 日の間、業務に従事すること。」作業条件を規定していると思いますが、この場合1班の人数、110日間の全体の人工は規定されているのでしょうか。	仕様上、人工の規定はしていないが、1班あたりカメラマン1名、補助員2名での作業を想定している。
3	「目録データのうち、寸法が未記載のものについては、採寸し そのデータを目録に追記すること。」寸法が未記載の資料の数量について、全体の割合などあらかじめ教えて頂けないでしょうか。	目録データのうち、寸法等が未掲載であり、補記が必要なものの割合は、全体の約7割である。
4	「刀剣及び甲冑の取り扱い 際には、特に十分な知識及び技術を習得した者に従事させること。」 刀剣や甲冑の取り扱いは、受託者側で行うという事でしょうか。その場合に、それらの該当する点数の内訳や収蔵施設を教えてくださいませんか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り扱いは原則として受託者側で行うことを想定している。</li> <li>・ 小田原城天守閣(刀剣23点、甲冑6点) 小田原市郷土文化館(甲冑2点)である。</li> </ul>
5	「自然科学資料のうち、生物資料については、本市が指定する者に資料整理等の作業をさせること。」 上記の条件は、小田原市の指定する方に、受託者側から委託または、賃金をお支払いして作業をしていただくという事でしょうか。 受託者側で費用(全体の作業費の積算にも影響するため)を負担する場合に、該当作業にかかる作業をされる方の作業工数や単価を事前に開示して頂けないでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのとおりである。</li> <li>・ 作業内容や費用については、参加資格があると認められた者に対して、開示する</li> </ul>
6	撮影体制は5班×110日分=550日分の作業量を確保すれば班数・日数は任意に設定してよいでしょうか。	撮影場所や撮影可能な期間に制限があるところもあるので、受託者決定後に本市と調整を行う。
2	平日の休館日は作業が可能ですか？	可能である。
3	記録写真撮影時の運搬、撮影補助、戻し作業は受託者にて対応とのことだが、最優先のカテゴリー1において記録写真の撮影は何点発生するか(所蔵場所ごとの点数をご教示いただきたい)。またカテゴリー2においては、記録写真撮影は発生しないとの認識でよいか。	カテゴリー1における高精細撮影が完了もしくは完了する見込みとなった時に、残りの撮影日数の中で、記録写真の撮影を行うものである。そのため、現時点撮影点数を提示することはできない。

仕様書 5頁 イ 資料管理システム・データベース構築 (ア) デジタルアーカイブシステム		
1	「刀剣及び甲冑の取り扱いの際には、特に十分な知識及び技術を習得した者に従事させること」に関して、対応ができる学芸員などの手配をお願いした場合、1日あたり最大何名程度の手配が可能で、どのくらいの費用を想定しておけばよろしいでしょうか。(例：1日あたりの単価)	詳細については、参加資格があると認められた者に対して、開示する。
2	「前号の作業に必要な消耗品類等にかかる費用については、受託者の負担とする。」消耗品類の内容は、事前に開示して頂けないでしょうか。(全体の作業費の積算にも影響するため)	詳細については、参加資格があると認められた者に対して、開示する。
3	「前々号の作業の際に発生する産業廃棄物については、法令の規定に従い適切に処理すること。その際の費用は、受託者が負担すること。」上記の条件は、必要な手続きや費用を積算するためにも、想定される産業廃棄物の種類と量は事前に開示をしていただけないでしょうか。(全体の作業費の積算にも影響するため)	詳細については、参加資格があると認められた者に対して、開示する。
5	「作業の際に発生する産業廃棄物については、法令の規定に従い適切に処理すること。その際の費用は、受託者が負担すること。」とありますが、これはどの受託業者においても対応ができるという認識でよろしいでしょうか。	そのとおりである。
仕様書 5頁 (2) デジタルアーカイブ イ 資料管理システム・データベースの構築 (ア) デジタルアーカイブシステム		
1	「ジャパンサーチ、サイエンスミュージアムネット等、他機関とのデータ連携する機能を有していること。」で、「他機関とのデータ連携」とは具体的にどういったことをイメージされてますでしょうか。また「等」とあるが、他に優先順位の高い連携先候補があれば、ご教授ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々のデータベースにおいて本業務でデジタル化した目録の項目の一部を連携することを想定している。</li> <li>・他のデータベースについては、現時点では具体的に想定していない。</li> </ul>
仕様書 6頁 イ 資料管理システム・データベース構築 (ア) デジタルアーカイブシステム		
1	プリントアウトする資料カードについて、様式は任意とのことですが、出力する要素はメタデータに加えて画像データも含むでしょうか。	画像データは、サムネイル画像程度で構わない。
仕様書 6頁 イ 資料管理システム・データベース構築 (イ) 図書管理システム		
1	「図書館管理システム」に登録が必要な図書は、資料内の「図書資料 約18000冊」のみでよろしいでしょうか？こちらの保管(所有)場所をご教授ください。 また、中央図書館で既存で使用している図書管理システムがあるようでしたら、サービス名や会社名をご教授ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目録を整理済の18,000冊と未整理の2,000冊がある。2つを合わせて2万冊が本業務で作成する図書管理システムに登録が必要な図書である。上記の図書資料は、全て小田原市郷土文化館に所蔵している。</li> <li>・現在、中央図書館で導入しているシステムは、 サービス名：「小田原市図書管理ネットワークシステム」 会社名：「NECキャピタルソリューション株式会社製である。」</li> </ul>
仕様書 6頁 (2) デジタルアーカイブ ウ デジタルミュージアム (ア) コンテンツ		
1	学習指導要領は、小学生が対象という考え方でよいでしょうか。	中学生も含む。
仕様書 7頁 (2) デジタルアーカイブ ウ デジタルミュージアム イ コンテンツ制作時の考慮事項		
1	「多言語表示に対応すること」上記の条件について、必須要件であれば対応言語とその範囲、対応方法(機械翻訳、人的翻訳)について教えてください。	多言語化表示は必須条件である。範囲は、基本的にデジタルミュージアムのコンテンツ部分を想定している。表示言語の数については、規定は設けていないが対応言語が多い方が評価の際に加点となる。また、方法については、AI技術をはじめとした先端技術を用いた自動翻訳によるものでも、人的翻訳でも構わないが本市で訳文をチェックすることはできないので、留意しておくこと。
仕様書 7頁 6 ハードウェア及びインフラ整備 (ア) ハードウェア整備		
1	「納品するパーソナルコンピュータ等の製造者及びスペックについては、本市と協議のうえ決定する。」上記の条	製造者やスペックは指定をしない。令和5年度以降作業をする上で支障のないスペック

	件について、費用の積算のため、あらかじめ必要なスペックや製造者の指定があれば、条件をご提示いただけないでしょうか。	を備えた機材であれば良い。
<b>仕様書 7頁 6 ハードウェア及びインフラ整備 (イ) インフラ整備</b>		
1	「来館者が無料で安全に利用できるフリー Wi-Fi の環境を小田原市郷土文化館の1階全展示室、会議室、事務室及び2階展示室に整備すること。ただし配線工事等」電波テストをしないことには、機器類の調達の数量などが明確にならないですが、平面図のご提示や、建物の条件（RCや木造）を教えてくださいませんか。	図面の提供は可能であるが、参加資格要件を満たした者に対して、開示する。
<b>仕様書 8頁 8 業務上の留意事項、その他</b>		
1	資料の汚破損、紛失等が発生した場合は、弁償」とありますが、付保しますので弁償金額（資料個々の評価額）を作業開始前に提示していただけますか？	個々の価格は査定していない。
2	所有権、著作権について、「第三者の著作権その他の権利に抵触するものについては、受託者の負担で処理すること。紛争が発生した場合は、受託者の責任において対応し、本市はその責を負わない」とあるが、どのようなことを指すのか。（業務完了後小田原市に帰属するのであれば、なぜ受託者が処理をする必要があるのか。撮影にあたって、著作権を侵害するものがない、ということをご前提にしておいていただく必要があるのではないのでしょうか。）	撮影やコンテンツ制作のデザイン等の著作者と受託者との関係について規定したものである。
3	『第三者の著作権その他の権利に抵触するものについては、受託者の負担で処理すること。』と記載あります。上記質問に記載した「郷土文化館研究報告全58冊」のデジタル化の許諾は対象となりますか。	不要である。
<b>別添資料 1 1 高精細撮影を行うもの</b>		
1	対象資料の大きさや形状のわかる情報は、あらかじめご提示を頂けないでしょうか。	可能である。郷土文化館分館松永記念館及び旧衛生会館に所蔵する美術資料については約6割について大きさを把握していない。また、図書館の所蔵資料については、現状明確な形状や大きさを提示することはできない。提示できる分については、参加資格要件を満たしたものに対して開示する。
2	高精細撮影を行う各文化財について、必要となる撮影カット数に加えて、資料点数をご教授ください。	可能である。提示できる分については参加資格を満たしたものに対して開示する。
3	カテゴリ1の総数が66,000になると理解しているが、1, 2, 3, 5を足すと35,000余り。それ以外の約20,000点はどのようなものがあるのでしょうか。あるいはカテゴリ2も含めて66,000点ということでしょうか。	目録数が66,000点としており、約20,000点は考古・歴史・民俗・美術資料である。
<b>別添資料 1 2 3D撮影を行うもの</b>		
1	撮影点数は示されていますが、それぞれの具体的な大きさや形状を事前に開示して頂けないでしょうか。	可能である。提示できる分については参加資格要件を満たしたものに開示する。
<b>別添資料 1 3 適切な方法でデジタル化するもの</b>		
1	二宮尊徳生家について、平面図などの資料を事前に提供を頂けないでしょうか。また屋根葺替え工事はいつ頃から行われるのか期間などを教えてください。	・二宮尊徳生家の立面図（南・西側）と屋内平面図はあるので、参加資格要件を満たしたものに開示する。 ・葺き替えの工事は、10月中旬～翌2月を想定している。
2	「図書資料 約18,000冊（書誌データのみ）」上記のものは、デジタルデータでの目録などが無いものを書誌データのデジタル化するという理解でよろしいでしょうか。	・約18,000冊の目録データは、エクセルデータを提供する。 ・図書資料の撮影は行わない。

	図書の撮影などは作業には含まれないという理解でよろしいでしょうか。	
4	「図書資料約 18,000 冊（書誌データのみ）」はどこで保管もしくは管理しているものになりますでしょうか？ 「図書資料約 18,000 冊（書誌データのみ）」では、具体的にどのような作業が必要となりますでしょうか？（例：書誌データの入力など）	小田原市郷土文化館所蔵の図書である。具体的な作業としては、仕様書に示しているとおりである。
5	郷土文化館研究報告全 58 冊は、書籍と想定しております。デジタル化の際に収蔵場所から持ち出して作業することは可能でしょうか。	可能である。
<b>別添資料 1 4 目録を登録するもの</b>		
1	66,000点（想定）のエクセルデータは、どの程度の割合でエクセルデータをご提供頂けるのでしょうか。全体の数量に対して提供いただける割合をお教えてください	8割程度は、提供できると想定している。
<b>別添資料 1 5 整備、目録整備及び適切な方法でデジタル化するもの</b>		
1	「魚類標本等については、本市が別に指定した者に従事させること。」とあるが、どの費用はこちらで負担する必要があるか？負担必要がある場合は、どの程度の費用を確保しておく必要があるか？（1日あたりの単価など）	詳細については、参加資格要件を満たした者に対して開示する。
2	作業対象の全図書資料は何冊でしょうか。	約 18,000 冊はエクセルデータがあり、約 2,000 冊は未整理である。
3	作業対象資料の現在の保管場所、およびそれぞれの冊数をお聞かせください。	小田原市郷土文化館に所蔵している図書資料で約 2 万冊である。
4	未整理（ラベル未貼付）かつ目録未作成の図書資料は何冊ですか	未整理の図書資料は、約 2,000 点であり、目録未作成の図書資料も約 2,000 冊である。
5	整理済み（ラベル貼付済）かつ目録未作成の図書資料は何冊ですか	該当なし。
6	自然科学資料のうち、生物資料にもバーコードラベル・背ラベル貼付が必要ですか	必要はない。
7	請求記号ラベルは 3 段と思われそうですが、請求記号はどのような体系になりますか（例 上段 NDC4 桁 中段著者もしくは書名カナ頭文字 1 字 下段巻数）	上段は NDC 4 桁、中段は著者記号、下段は号数である。
<b>別添資料 1 6 コンテンツ内容</b>		
1	「(仮称) 小田原偉人データベース 小田原の偉人、紙データ 約 650 人分の新聞記事等の切り抜きデータのデータベース化」上記は、作業としてデジタル化から行うものでしょうか、デジタル化されたデータを元にデータベースを作成するのでしょうか。あらかじめ、どのような内容のものを開示頂く事はできないでしょうか。	中央図書館と郷土文化館にてデータ等があるので、サンプルを提示する。 詳細については、参加資格があると認められた者に対して、開示する。
2	「図書管理システム」上記について、図書管理システムは、スタンドアローンの PC での利用を想定したもので、仕様書の 1 頁には、「アクセスは小田原市郷土文化館のみがアクセスできること」との記載がありますが、これは、蔵書データを WEB で公開することを意図した記載でしょうか。これに対応するためには、管理用の機能に加えて、WEB 上に公開設定ができる仕様を要求されているという理解でよろしいでしょうか。	図書管理システムについては、WEB 上での公開は想定していないが、将来的に WEB 上で公開をする際に支障がないようにしていただきたい。
2	「(仮称) 小田原文化財マップ 東京都町田市が作成しているものを参考に」上記について、具体的に、どの部分を意図されているのか、URL などで具体的にご指示を頂けないでしょうか。	町田市デジタルミュージアムのマップでは、遺跡のデータにだけでなく古民家などの情報もみられるようになっている。このように分野（考古や民俗など）や時代を問わず重層

	また、情報の緯度経度などが入った表のデータ等は提供されるのでしょうか。	的に見られ、そのマップを見ながら観光巡りができるマップの構築を想定している。  参考 URL 【 <a href="https://trcadeac.trc.co.jp/Html/Home/1320905100/topg/map/index.html">https://trcadeac.trc.co.jp/Html/Home/1320905100/topg/map/index.html</a> 】（町田市デジタルミュージアムより 閲覧日：2022.07.19） 緯度・経度のデータ提供は可能である。
3	コンテンツの内容は、仕様書 P5「(ア)デジタルアーカイブシステム」の仕様に従う必要はありますか？コンテンツの内容はデジタルアーカイブと切り離して考えてよいか確認です。	切り離して考えてよい。
4	「追加機能」のご利用に際して、追加作業を行うご担当者に向けてこちらから操作マニュアルの提出を行えば、使用方法はご理解いただけそうでしょうか？Web サイトのご納品後に市役所へ赴いてのレクチャー会が必要でしょうか？	仕様に記載のとおり操作研修会を開催していただきたい。
5	「小田原の歴史と民俗」についてテキストと写真はご提供いただけるという認識で問題ないでしょうか？ご提供いただける場合、そのテキスト分量と写真点数をご教授いただけますでしょうか？	・テキストや写真データは、提供することができる。 ・分量については、文字が33,000字程度、図が約15点 写真が約220枚 表約5個である。
6	(仮称)小田原偉人データベース、(仮称)小田原歴史年表、小田原地方新聞記事目録、それぞれのもとになる資料はどのような形式で、何点くらいのご支給になりますでしょうか ※補足 紙の資料でのご支給となった場合、テキストデータ化の作業が必要になります。 OCR もしくは人の手による入力になることが考えられるので、資料をそれぞれ複数ご提供いただくことは可能なかも確認できますと幸いです。	別添資料1 6 コンテンツ内容の該当箇所を参考にしてください。 なお、いずれも複数の提供はできません。
7	小田原市地理情報システムとはどのようなものでしょうか？	参照 URL 【 <a href="https://www2.wagmap.jp/navi-odawara/Portal">https://www2.wagmap.jp/navi-odawara/Portal</a> （閲覧日：2022.07.19） 上記を参照にしてください。
9	「小田原の古写真」は、プリントとフィルムそれぞれ何点くらいありますか？	プリント6,000枚、フィルム1,000本を想定している。
10	「子どもむけコンテンツ」について記載されている「磯の生物の観察会」や「土器製作講座」は指定でしょうか？指定の場合、コンテンツ制作する際に参考となる「磯の生物の観察会」や「土器製作講座」の内容がわかる資料や素材はご用意いただけると考えておいてよろしいでしょうか？	「磯の生物の観察会」や「土器製作講座」については、資料や素材を提供するので、コンテンツを製作していただきたい。また、同様のプラットフォームにより、コンテンツを追加できるようにしていただきたい。
11	「特別展・企画展」で要望されているプラットフォームで、具体的に必要となるコンテンツ（情報）内容や機能や仕様に関するご要望があればご教授ください。	展覧会の図録の内容をデジタル化したり、展示風景を掲載する等、見逃してしまった展示の内容を追体験できるようなコンテンツ（説明文、写真、動画など）を想定している。

<b>別添資料3 作業場所（想定）</b>		
1	各施設の撮影候補エリアのサイズや電源場所がわかる図面データをご提供いただけるとのことでしたが、いつくらいにご提供いただけますでしょうか？	詳細については、参加資格要件を満たした者に対して開示をする。
<b>別添資料4 統一フォーマット</b>		
1	データベースの項目を示しているものと理解しますが、大分類毎に別々のデータベースを制作するという理解でよろしいでしょうか。 またはこの分類に応じて、統合したデータベースを1つ制作すればよいという理解でよろしいでしょうか。	後者のとおりである。
<b>別添資料6 パーソナルコンピューターにインストールするソフトウェア</b>		
1	これらのソフトは、納品するノートパソコン、デスクトップそれぞれに1ライセンス、合計2ライセンスをインストールするということによろしいでしょうか。	そのとおりである。
2	ご予定されていると伺った撮影日程を教えてください	10月に業務を開始すると仮定すると、令和5年3月末までの平日約110日が想定される。
<b>7月14日（木）実施の各施設見学会での質問</b>		
<b>小田原城天守閣</b>		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示中で展示されている場所で撮影しなければならない文化財は何箇所何種類ありますでしょうか？</li> <li>・天守閣の2つの模型のおおよその寸法（高さ、幅、奥行き）をご教授ください。</li> <li>・天守閣の模型のサイズに関する資料は提供してもらえますでしょうか？</li> <li>・ドローン撮影する場合、許可申請は必要となりますでしょうか？</li> <li>・刀剣・甲冑：ご紹介いただける担当の方について費用を教えてください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、5か所であり、天守模型2・瓦1・木像2・障壁画4・甲冑3 程度を想定をしている。</li> <li>・天守模型の寸法については、別紙を参照ください。</li> <li>・城址公園内のドローン空撮であれば、小田原城総合管理事務所に公園内行為許可申請が必要</li> </ul>
<b>小田原市尊徳記念館</b>		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・萱葺き屋根の工事期間中（10月中旬～2月）に何回くらい動画撮影が必要なイメージをされてますでしょうか？</li> <li>・一番大きい文化財はどのくらいのサイズになりますでしょうか？</li> <li>・ドローン撮影する場合、許可申請は必要となりますでしょうか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影回数の上限は10回と想定される。ドローン撮影だけでなくハンディカメラで撮影する方法が想定される。また、建物は県指定有形文化財（建造物）となっているため、撮影時には注意していただきたい。</li> <li>・横は30cm×13mの卷子「尊徳書状」、縦は162cm×83cmの軸装「絹本着色 尊徳稲田検分の図」</li> <li>・当館に対しての申請は不要、県や企業などに申請を出す必要がある場合は業者側で対応</li> </ul>
2	施工業者は決定後、コミュニケーションが取れるのかまたいつごろ決まる予定か	・屋根修繕の施工業者選定は9月の予定、業者との交渉の際は必ず尊徳記念館の担当職員を立ち合わせる事
<b>小田原市中央図書館</b>		
1	・撮影場所候補である「集会室」のブラインドを閉めると、どの程度暗くすることが可能でしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会室は、遮光システムはブラインド型なので、完全な遮光は不可能とお考え下さい。</li> <li>・視聴覚ホールは、窓には全面ブラインド型の遮光システムがありますが、作動しない</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影場所候補である「視聴覚ホール」のステージ左側上の窓部分について暗幕対応ができる方法がありますでしょうか？</li> <li>・一番大きい文化財はどのくらいサイズになりますでしょうか？</li> </ul>	<p>箇所もあり、作動しても完全な遮光は不可能とお考え下さい。暗幕の付設は現場確認の上、方法をご検討ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台奥に暗幕（手動）があり、これを閉じると西側（質問のあった方向）からの遮光性はやや向上します。</li> <li>・屏風：1,750ミリ×2,500ミリ（2曲） 、相州小田原古絵図：1,821ミリ×2,330ミリ</li> </ul>
2	<p>平日がメインだと思うが、土日祝も撮影可能か また、現在のホールの予約状況はどうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務体制によっては、対応が可能である。要相談である。</li> <li>・現状、予約はない。</li> </ul>
<b>小田原市郷土文化館分館松永記念館</b>		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「老櫓荘」などのは施設（建物）内に入って撮影は可能でしょうか？</li> <li>・ドローン撮影する場合、許可申請は必要となりますでしょうか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当館に対しての申請は不要、県や企業などに申請を出す必要がある場合は業者側で対応していただくことが想定される。</li> <li>・建物は国登録有形文化財となっているため、撮影時には十分注意を払っていただきたい。</li> </ul>
2	<p>屏風は和室で、雰囲気を持った撮影を行うべきか</p>	<p>必要はない。</p>